

解雇は阻止した！ 根津公子さんの闘い 6・20 集会

都教委職員に抗議する根津さん（都庁 2月14日）



お話 根津公子さん

東京都教育委員会（都教委）の累積加重処分（処分がどんどん重くなっていく）をはね返し、「君が代」不起立を続ける。都教委は今春の卒業式での不起立の闘いでの解雇をもくろんだが、2～3月連日の都庁・都教委抗議行動や職場での門前闘争で、解雇を阻止した。

6月20日（金）19：00 開
会 18：30 開場
埼玉会館・5階7A 会議室

参加費 500円



根津さん河原井さんらの「君が代」解雇をさせない会・埼玉

〒336-0917 さいたま市緑区芝原 2-9-4 Tel048-874-3338 代表：井口良夫

都教委は私をクビにできなかった！

根津公子さんの勝利報告(3月31日)

都教委は、私をクビにすることはできなかった。「停職6カ月の次はない」と言われ、階段を一段ずつ登らされて死刑までいかと思ったら、そうはならなかった。停職6カ月は本当に不当だけ



どももし大勢の声がなかったら簡単にクビにしたはずです。それができなかったんです。

この1年、いろんな動きにみなさんが呼応してくださいました。2月からは「トレーナーで解雇されるかもしれない」という中で、連日動き続けた。12万5千筆もの署名が集まった。海外からの声もずいぶん都教委に寄せられた。そうやって動き続けたことで「クビにしたら、その後が大変だ」となって、都教委はクビにすることができなかったんだと思います。

「憲法を破る」と公言する石原教育行政のもとでも、やっぱり大勢の力が動けば変えられるという希望を持ちました。

午前中、都教委が処分発令書を学校に持ってきました。「一緒に処分書ももらいに行ってくれる？」と声をかけたら、5人が一緒に発令の現場に来てくれた。都教委には、南大沢学園の中にも根津を支持している人たちが大勢いることがわかったと思います。

どんなに座ってもクビにならないということが今日、実証できました。「日の丸・君が代」強制をおかしいと思っている教員がみんな起立しなかったら、もう処分できなくなるということが明確になりました。

みなさん、一緒に動きましょう。そして「10・23 通達」をなくしましょう。

とにかく今日はうれしさいっぱいです。

ロスアンゼルスからCAMS連帯メッセージ

日本の兄弟姉妹の皆さん、私たちは、軍国主義のシンボルである「日の丸・君が代」に反対して、厳しい闘いを展開する皆さんと共にあることを誇りに思います。皆さんは、自らへの攻撃にただ耐えてきただけではなく、良心の自由に沈黙することに反対し、正々堂々とものを言うために、労働者を組織化し動員しています。皆さんは、教師としてまた皆さんの生徒たちの手本として、真剣にその責任を果たしています。結集された皆さん並びにこの抵抗運動に参加されている全ての生徒、教師、労働者の皆さんを、私たちは心より称賛したいと思います。日教組のスローガン「教え子を再び戦場に送るな」は、私たち全てにとって、ここに新たな意味を持つことになりました。本当にありがとうございます。(以下略)

連帯を込めて、
アーリーン・イノウエ

学校の軍国主義に反対する連合 (CAMS)
ロスアンゼルス統一教組 (UTLA)

パリ支援グループからのメッセージ

フランスの教員組合の一つ、SUD Education (シュッド・エデュカシオン) から、昨年12月のアクションに向けてメッセージをもらっていますが、3月10日のOne Day Actionに向けて、彼らが属する組合 Solidaires (ソリデール) は、在仏日本大使館に会見を求める要請書を送りました。

主旨は次のとおりです。

「根津さん、河原井さんをはじめ日本の教員388人が君が代・不起立で東京都と都の教育委員会から処分を受けたことを知った。私たちはそんな処分はまったく理解できない。それが日本の同僚たちの教育の自由をおびやかすだけでなく、教育の場でナショナリズム的心情を助長するのではないかと懸念している。(以下略)」